

製品名: 嗅覚受容体 51G1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15248**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	36kDa

抗原情報

遺伝子名	OR51G1
別名	OR51G1; OR51G3P; Olfactory receptor 51G1; Olfactory receptor 51G3; Olfactory receptor OR11-29
遺伝子 ID	79324.0
SwissProt ID	Q8NGK1
免疫原	抗血清はヒト OR51G1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 199-248

背景

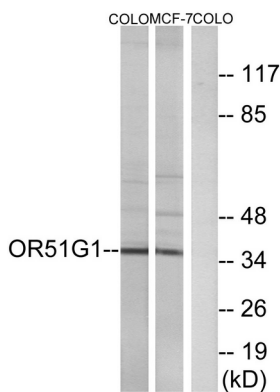
嗅覚受容体は鼻腔内の嗅覚分子と相互作用し、嗅覚の知覚を引き起こす神経反応を引き起こします。嗅覚受容体タンパク質は、単一

のコーディングエクソン遺伝子から生じる G タンパク質共役受容体 (GPCR) の大規模なファミリーに属します。嗅覚受容体は、多くの神経伝達物質受容体やホルモン受容体と 7 つの膜貫通ドメイン構造を共有し、嗅覚シグナルの認識と G タンパク質を介した伝達を担っています。嗅覚受容体遺伝子ファミリーはゲノム中で最大のファミリーです。この生物の嗅覚受容体遺伝子およびタンパク質に割り当てられた命名法は、他の生物とは独立しています。この嗅覚受容体遺伝子は分離擬遺伝子であり、一部の個体は機能的な嗅覚受容体をコードする対立遺伝子を持ち、他の個体は機能：嗅覚受容体をコードする対立遺伝子を持ちます。類似性： G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。

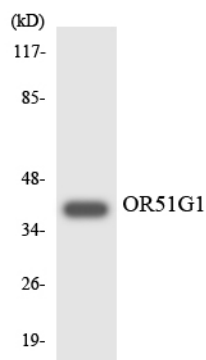
研究分野

嗅覚伝達;

画像データ



OR51G1 抗体を用いた COLO 細胞および MCF-7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



OR51G1 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。